

③ 「いつも気をつけよう」・「たいせつ」一覧（読むこと [物語]）

<p>一年・二年</p>	<p>○なにかがいてあるかに気をつけてよむ。おはなしに出てくる人やもののしたことに気をつけてよむ。 ○おはなしの名まえをだいたいめいといいます。おはなしをつくった人をそのおはなしのさくしゃといいます。 ○お話を読むときに気をつけること（・じんぶつをしたこと ・じんぶつが言ったこと ・じんぶつがようす）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】音読をする ・じんぶつをしたことやようすを考えながら、音読する。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】おはなしのかんそうを書くとき ・じんぶつをしたことや言ったことに気をつけて読む ・かんそうと、どこを讀んでそうおもったかを書く。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】お話をみんなでたのしむ ・みんなでたのしく読めそうなお話をえらぶ。 ・じんぶつがなにをしたのか、どんなできごとがあったのかに気をつけて読む。 ・ほかの人がお話を讀んでくれるときには、ちゅういして聞く。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】じゅんじょに気をつけて読む ・時間をあらわすことばを見つけて、いつのできごとかをたしかめる。 ・だれが、なにをしたかや、なにがあったかをくわしく読む。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>【たいせつ】じんぶつと自分をくらべて読む ・心のこったことばや文を書きぬく。 ・自分だったらどうするかを考えながら読む。</p> <p>【たいせつ】そうぞうを広げて読む ・じんぶつが、どうしてそのことをしたり言ったりしたか考えながら読む。</p> </div>
<p>三年</p>	<p>○人物のしたことや言ったことに気をつけて読む。 ○自分だったらどうするかを考えながら読む。 ○声の強弱や高さ、読む速さ、間の取り方などに気をつけて音読する。 ○登場人物の気持ちや、場面の様子を思いうかべながら読む。</p> <p>○人物や、まわりの様子を考えながら読む。 ○人物が、どうしてそのことを言ったりしたりしたか考えながら読む。 ○登場人物の行動や会話に気をつけて読む。 ○物語の中で起こる出来事に着目して読む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】場面のようすがつたわるように音読する ・登場人物のいる場所や動き、聞こえる音などに気をつけて、場面のようすを思いうかべる。 ・声の強弱や高さ、読むはやさ、間のとり方などに気をつけて読む。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】「出来事」に気をつけて読む ・物語を読むときには、「出来事」に気をつける。どんな出来事がおこったのか。／その出来事がおこったきっかけは何か。／その出来事は、物語の中でどんなやくわりをしているか。／出来事がおこる前と後で、何がかわったか。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】場面のうつりかわりを読む ・場面を追うごとに、どんな出来事があり、何がかわるのかを考えながら読む。 ・文章に書かれていなくても、その間にすぎた時間や、あったことなどをそうぞうする。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】おもしろいと思うところを見つけながら読む ・次のことに目を向けて読むとよい。 登場人物の言動や人から／時代や場所／大きな出来事、ふしぎなことや意外なこと／場面のうつりかわり／言葉の使い方や文章の調子／心にのこる言葉や文、さし絵など</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>【たいせつ】登場人物の人からや気持ちを考える 物語を読むときは、登場人物の人からや気持ちを考えながら読みましょう。次のような部分に着目すると、人物の人からや気持ちがとらえやすくなります。 ・会話文—登場人物の考えや思いがそのまま表れていることが多い。 ・地の文—人物の様子や表情、行動を表しているところには、その人物の人からや気持ちが表れていることがある。 また、登場人物どうしの会話や行動をくらべると、人からよく分かることがあります。</p> </div>
<p>四年</p>	<p>○場面の様子を思いうかべながら音読する。 ○場面を追うごとに、どんな出来事があり、何がかわるのかを考えながら読む。 ○題名に用いられたり、くり返し用いられたりしている言葉に着目して読む。</p> <p>○場面のうつり変わりに気をつけて読む。 ○人物の人からや気持ちを考えながら読む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】登場人物の人からをとらえる ・物語を読むときは、会話文や地の文に着目して、登場人物の人からをとらえながら読む。 ・登場人物の人からをとらえ、その人物が物語の中でどのような役わりをしているかを考えると、読みが深まる。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】特別な言葉に着目する 物語の中で、作者がある言葉に特別な意味をこめていることがある。そのような言葉は、例えば、次のような使われ方をする。 ・題名に用いられる。 ・くり返し用いられる。 ・中心となる登場人物の会話の中で用いられる。 ・出来事が起こったり解決したり、登場人物の気持ちがかわったりする、重要な場面で用いられる。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】感じ方のちがいを知る ・物語を読むときは、登場人物のだれかと自分を重ね合わせたり、書いてあることを、経験などと結び付けたりしている。そのため、物語の感じ方は、十人十色である。 ・読んで感じたことや考えたことをつたえ合うと、自分一人では気づかなかったことを教えられ、物語の読みが深まったり、広がったりする。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】自分の体験とくらべて想像する ・自分の体験とくらべて読むと、場面の様子や登場人物の気持ちが想像しやすい。 ・自分の体験に引きよせて考えることで、心に残ったことや感じたことが、なぜ引き出されたかをつかみやすくなる。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>【たいせつ】表現や、場面の位置づけに気をつけて音読する 場面を音読するときには、次のことを考えましょう ・場面の様子を表す言葉が、登場人物の気持ちとどう結び付いているか。 ・場面の様子を聞き手に伝えるためには、どの言葉や文を強調してよめばいいか。 ・登場人物の様子を表すためには、どの言葉をどんな声の調子で読むのがいいか。 ・物語全体の組み立てを考え、場面の位置づけがよく分かるようにするためには、どう変化をつけて読めばいいか。</p> </div>
<p>五年</p>	<p>○場面や登場人物の様子を思いうかべながら音読する。 ○物語の中の特別な言葉に着目して読む。 ○感じたことや考えたことを伝え合い、物語の読みを深めたり広げたりする。</p> <p>○場面の移り変わりに気をつけて読み、登場人物の人からや気持ちを想像する。 ○書かれていることを、自分の体験と比べながら読む。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】登場人物どうしの関わりを読む ・登場人物どうしの関わりは、何かの出来事をきっかけにして変化していく。 ・登場人物どうしの関係とその変化から、それぞれの人物像や、心情のうつり変わりをとらえることができる。 ・物語の中の人物や人物どうしの関係を理解することは、現実世界での人間関係を助け、自分のものの見方や考え方を深めることにもつながる。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】本をすすめるときは ・相手や目的に合わせて、どんな本をすすめたいかを考え、これまで読んできた本をふり返ったり、図書館でさがしたりする。 ・人に本をすすめるときには、そのみりよくが伝わるように、方法や表現などを工夫する。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】すぐれた表現に着目する ・物語では、人物の言葉や行動、そのときの人物の様子、場所の様子などが、目に見え、耳に聞こえるように生き生きとえがかれる。それらの表現に着目して、内容をとらえることが大切である。 ・場面の様子や風景をえがいた表現から、人物の心情や性格を想像することができる。このような、情景をえがいた表現に着目することで、物語の読みが深まっていく。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】伝記を読む ・伝記を読むときは、自分の生き方に取り入れたいことを考えながら読むとよい。 自分の生き方と関わらせて読むと、自分の考えを広げたり深めたりすることへつながっていく。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>【たいせつ】作品の特色をとらえる ・構成—どのような場面が、どのような関係でえがかれているか。 ・人物像—どのようなものが見方・考え方の人物がえがかれているか（会話・行動や心情） ・表現—場面の様子や人物を、どのような言葉で表現しているか。</p> </div>
<p>六年</p>	<p>○登場人物どうしの関係とその変化から、それぞれの人物像や心情の移り変わりをとらえる。 ○情景に着目して読み、登場人物の心情などを想像する。 ○物語の構成や登場人物の人物像、場面の様子や登場人物をえがく表現に目を向けて読み、作品の特色をとらえる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】登場人物の心情と読者の関わり ・物語を読むとき、読書は、登場人物のだれかに自分を重ね合わせていることが多い。これは、物語を読むおもしろさの一つである。 ・登場人物の心情は、周りの人物との関係の中で、ゆれ動いたり、変化したりする。中心となる人物が語り手となる物語では、特にそれがよく分かる。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】自分と本との関わりについて考える 本や読書との関わりを考えることで、今後の読書生活をより豊かにすることができる。 ・これまでの自分と本との関わりをふり返る。 ・ふり返って考えたことを、文章にまとめるなどする。 ・本との関わり方について、友達と伝え合う。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】朗読で表現するために 登場人物の心情や場面の様子などを想像し、作品世界を理解することで、豊かな朗読の表現につなげることができる。 ・読んで感じ取った自分の思いを、どのように朗読すれば伝えられるかを考え、工夫して声に出す。 ・必要に応じて、作者について調べたり、他の作品などを参考にしたりする。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>【たいせつ】登場人物の関係をとらえる 物語を読むとき、次のような役割に注目することで、人物どうしの関係をとらえやすくなり、物語世界への理解がより深まる。 ・中心となる人物 ・中心となる人物と対立する人物 ・中心となる人物を、助けたり支えたりする人物。</p> </div> </div>

